

# 住民投票結果は、ひっくり返すことはできない

良夫 町議会で、百武町長は合併しないとはっきり言ったね。  
太郎 百武町長は、「住民投票の結果を真摯に受け止め、町民の意志を尊重したいと考えている。合併議案は提案しない。今後の対応については、議会と相談していきたいと考えている」といった。

## 「太良は合併しない」 - 百武町長が議会で明言

良夫 要するに、「合併反対」という町民の意志を尊重する。「合併議案」(合併するという議案)は議会に出さない。「合併協議会からの離脱」の手順などについては、議会と相談してきめるとのことだね。

太郎 その通りだ、太良が合併しないという方向ははっきりしたわけだ。

良夫 ところが、これをひっくり返そうという人たちがいるんだね。

## 住民投票条例を決めたのは議会

### 投票率 77%の重みを尊重するのが当然でないか

太郎 まず、一つは「合併賛成と反対の票差は 473 票しかない。議論をやり直せ」という議論だ。  
良夫 住民投票結果をひっくり返そうという議論だね。21 日の議会で質問した議員もそうだった。  
太郎 これに対して、百武町長は 77.25%という高い投票率は、知事選もこえているとその重みを強調していた。そして、住民説明会で「合併しなければこんなに大変だ、合併すればこんなにバラ色だ」という説明を聞いた上でなお、町民は苦渋の選択をした。その結果は重くうけとめなければならないと言っていた。  
良夫 全くその通りだね。それに加えて、合併協議会(鹿島市長が会長)は住民投票直前に「合併協定調印式」というのをやって町民に「合併はもう決まってしまった」と思わせようとした。洪水のようにビラを出して、町民の合併論議に介入した。建設業界の一部にも「企業ぐるみ」をやらせようとした。だけど、町民は脅しに負けず、バラ色宣伝に惑わされず、「合併反対」の意思表示をしたんだ。この重みは大きいよ。  
太郎 どんなことを言っても住民投票結果はひっくり返すことができない。ここが一番肝心だ。  
良夫 しかも、住民投票条例を決めたのは町議会だろう。自分たちが決めた条例で住民投票をやったのに、投票結果が自分の思い通りにならなかったといって認めようとしなない - - - こんなことは世間では通用しないよ。

## 合併協議会より、住民投票結果が優先するのは当然

良夫 合併協議会で決めたことだから守らねばならないという人もいるよ。  
太郎 合併協議会委員にそんな声があるようだ。だけど、太良では合併の是非は住民投票の結果で決める - - はじめからそうになっていた。鹿島も承知のことだ。住民投票で合併反対の意思が明らかになった以上、住民投票結果が優先するのは当然だよ。  
良夫 町議会は住民投票結果を尊重して、「合併協離脱の決議をせよ」と町民の声を大きくしよう。知り合いの議員さんにも、住民投票の結果を尊重するようみんなでお願いしよう。

## 父母の不安を利用して、住民投票結果をひっくり返そうとする署名も

太郎 町議会だけでなく、議会外でも住民投票結果をひっくり返そうという動きがある。例えば、「みなさんどう思われますか?」という署名だ。町役場の財政試算に保育料の値上げなどが書いてあることから、合併しなかったら子育ての環境が悪くなってしまう。合併して、子育てや教育、文化などに関する支援事業を維持してもらいたいという趣旨の署名だよ。  
良夫 全くおかしい。あの「財政試算」は町もいっているように決まったものではない。それを決まったかのように言うのはおかしい。  
太郎 その通りだ。合併しなければ、いろいろな行・財政改革をしなければならないけど、そのとき、父母のみなさんが「保育料は上げないで欲しい。子育て事業はつづけてほしい。教育予算は確保して欲しい」と願い、声をあげるのは当然だ。だけど、そういう願いを、住民投票結果をひっくり返すのに利用するのは絶対に許せない。  
良夫 こんな動きは厳しく批判しなければならないね。

## 合併反対・太良町を残そう

No.31 2004.6.22

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>